

NEWS RELEASE

新 発 売

クラシカルな外観と洗練された操作性を小型軽量ボディに凝縮した人気「X-T30」シリーズの最新モデル ミラーレスデジタルカメラ「FUJIFILM X-T30 III」

最新プロセッサーとフィルムシミュレーションダイヤルで撮る愉しさをより感じられる 1 台

2025 年 10 月 23 日

富士フイルム株式会社（本社：東京都港区、代表取締役社長・CEO：後藤 禎一）は、独自の色再現技術による卓越した画質と小型軽量を実現する「Xシリーズ」の最新モデルとして、ミラーレスデジタルカメラ「FUJIFILM X-T30 III」（以下「X-T30 III」）を 2025 年 11 月下旬より発売します。



「FUJIFILM X-T30 III」シルバー



「FUJIFILM X-T30 III」ブラック



「FUJIFILM X-T30 III」チャコールシルバー

「X-T30 III」は、従来モデル「FUJIFILM X-T30 II」と同じ質量 378g^{※1}の小型軽量ボディとクラシカルなセンターファインダースタイルのデザインを踏襲し、裏面照射型約 2610 万画素「X-Trans™ CMOS 4」^{※2}センサーと、高速画像処理エンジン「X-Processor 5」を搭載したミラーレスデジタルカメラです。従来モデルに比べ約 2 倍の高速処理を実現し、最新の被写体検出 AF を採用するなど、高画質で快適な撮影を楽しめます。また、「FUJIFILM X-T50」や「FUJIFILM X-M5」で好評のフィルムシミュレーションダイヤルを搭載しました。写真フィルムを交換する感覚でさまざまな色調表現を楽しめる「フィルムシミュレーション」を直感的なダイヤル操作で切り替えることができます。忠実な色再現性とメリハリのある階調表現を併せ持つ「REALA ACE」や、高彩度かつ柔らかい階調表現を特長とする「NOSTALGIC Neg.」を含む計 20 種類のフィルムシミュレーションを搭載。ダイヤルには、FS 1 から FS 3 の 3 か所のポジション^{※3}が搭載されており、フィルムシミュレーションに任意の画質を設定したオリジナルの「FS レシピ」を登録し、多彩な写真表現をお楽しみいただけます。

従来モデルから好評のポップアップ式フラッシュや「オートモード切替レバー」による「AUTO」撮影など、快適な撮影をサポートする機能はそのままに、新たに 6.2K/30P の動画撮影に対応するなど、静止画から動画まで撮影表現の可能性を大幅に広げています。

「X-T30 III」は、初めてデジタルカメラをご使用になる方から、本格的な撮影を楽しみたい方まで、快適な操作性や直感的な撮影体験、洗練されたデザインを通して、撮る愉しさをより感じられる一台です。

※1 付属バッテリー、メモリーカードを含む。

※2 X-Trans は、富士フイルム（株）の商標または登録商標です。

※3 フィルムシミュレーションダイヤルに搭載した 3 か所のポジション。FS1、FS2、FS3 にそれぞれ全 20 種類のフィルムシミュレーションと画質設定の項目を個別に登録することが可能です

記

1. 製品名・発売日・価格

製品名	カラーバリエーション	発売日 (日本国内)	希望小売価格
デジタルカメラ 「FUJIFILM X-T30 III」	シルバー	2025 年 11 月下旬	オープン
デジタルカメラ レンズキット 「FUJIFILM X-T30 III」 「XC13-33mmF3.5-6.3 OIS」		2025 年 12 月	
デジタルカメラ 「FUJIFILM X-T30 III」	ブラック	2025 年 11 月下旬	
デジタルカメラ レンズキット 「FUJIFILM X-T30 III」 「XC13-33mmF3.5-6.3 OIS」		2025 年 12 月	
デジタルカメラ 「FUJIFILM X-T30 III」	チャコールシルバー	2025 年 11 月下旬	
デジタルカメラ レンズキット 「FUJIFILM X-T30 III」 「XC13-33mmF3.5-6.3 OIS」		2025 年 12 月	

2. 製品特長

(1)最新画像処理エンジンにより、狙った被写体を逃さない AF と多彩な映像表現を実現

- ・裏面照射型約 2610 万画素「X-Trans™ CMOS 4」センサーと最新の高速画像処理エンジン「X-Processor 5」を搭載。消費電力が抑えられ、最大撮影枚数 425 枚※4 を実現しました。
- ・ディープラーニング技術を用いた最新の被写体検出 AF を採用しました。顔・瞳 AF 機能に加え、動物、鳥類、車、バイク、自転車、飛行機、鉄道、昆虫、ドローン※5 まで多様な被写体を自動で認識し、追尾することが可能。これにより、撮影者は構図やシャッターチャンスに集中し、快適に撮影をお楽しみいただけます。
- ・6.2K/30P 4:2:2 10bit でのカメラ内 SD カード記録が可能であるほか、4K/60P や 1080/240P のハイフレームレート撮影にも対応。さらに、強力な電子式ブレ補正を搭載し、細かな手ブレだけでなく、歩きながらの動画撮影などで発生する大きな揺れに対しても効果を発揮します。

※4 エコノミーモード設定時。

※5 昆虫の場合は「鳥」、ドローンの場合は「飛行機」を選択して設定することで、それぞれを AI で検出できます。

(2)高い携帯性を叶える小型軽量デザインと、撮影の愉しみを広げるフィルムシミュレーションダイヤル

- ・従来モデルである「X-T30 II」と同サイズ（幅 118.4mm x 高さ 82.8mm x 奥行 46.8mm）、同質量（378g）を実現。「X-T シリーズ」の系譜を受け継ぐセンターファインダースタイルのクラシックな外観と小型軽量なデザインは、毎日持ち歩きたくなる一台です。

- ・「REALA ACE」「NOSTALGIC Neg.」を含む全 20 種類のフィルムシミュレーションモードを採用。天面左肩にフィルムシミュレーションダイヤルを搭載し、被写体やシーンに合わせて直感的に選択可能です。階調やコントラストなど写真フィルムの色合いをデジタルで再現した当社ならではの色再現技術を、デジタルカメラを初めて使用される方でも簡単にお楽しみいただけます。
- ・フィルムシミュレーションダイヤルのうち、FS1 から FS3 の 3 か所のポジションには、全 20 種類のフィルムシミュレーションとその画質設定を個別に登録し自分だけの「FS レシピ」として保存できます。シーンや被写体に応じて、「FS レシピ」をダイヤル操作で直感的に呼び出して、撮影できます。



外観デザイン



フィルムシミュレーションダイヤル

(3) 優れた操作性による快適な撮影を実現

- ・瞬時に「AUTO」モードに切り替えられる「オートモード切替レバー」をボディ天面に搭載。
「AUTO」モードでは、カメラが自動でシーンを判別し最適な撮影設定を選択するため、複雑な設定をせず、気軽に撮影できます。
- ・天面にはファインダー部と一体化したポップアップ式フラッシュを内蔵しています。自動で適切な光量に調整されるため、暗所や逆光でのポートレート撮影などで効果を発揮します。
- ・ファインダーがレンズ光軸の真上に配置された「センターファインダースタイル」を採用し、ファインダー越しに狙った被写体を真正面に捉えられます。ファインダーを覗くことで、被写体とその背景により集中しながら撮影を楽しむことができます。
- ・162 万ドットのチルト式タッチパネル付き液晶モニターを搭載。旅行写真や風景スナップなどでハイアングルやローアングルでも構図を確認しながら軽快に撮影できます。
- ・人間工学に基づいた手に馴染むグリップ形状により、小型軽量ながら高いホールド性能を実現します。
- ・当社のスマホプリンターLink シリーズ^{※6}と無線通信を通じて接続し、アプリを介さずにダイレクトプリントが可能。また、新たに instaxTM mini、instaxTM SQUARE、instaxTM WIDE 用の画角が追加され、撮影からプリントまでスムーズにお楽しみいただけます。

※6 対応機種：instax mini Link 2TM / instax mini Link 3TM / instax SQUARE LinkTM / instax Link WIDETM

【関連情報】X-T30 III 製品映像：<https://youtu.be/5UPv6H4FnQg>

本件に関するお問い合わせは、下記にお願いいたします。

【お客さま】 富士フィルムデジタルカメラサポートセンター
富士フィルム ウェブサイト デジタルカメラ

TEL : 0570-04-1060
<https://fujifilm-x.com/>